

# 八代の宝から世界の宝へ 妙見祭を彩る人たち

「八代妙見祭の神幸行事」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたことを記念して、40ある出し物と祭りを彩る人たちの思いを紹介します。



## 26 紫翳

儀式用の調度の一種です。

鳥の羽や絹を張ったうちわの形に、長い柄をつけた道具であり、貴人の外出時や、人前に出るときに顔を隠すのに用いられました。

北魏の竜門賓陽洞前壁のレリーフにその形を見ることができ、現存するものはありません。

## 西片町 立川 和喜さん

町内の皆さんが都合をつけて参加してくれて感謝しています。必要人数がそろったときはこれから妙見祭が始まる



## 27 管翳

紫翳と同じく儀式用の調度の一種で、長柄の団扇です。

こちらは管を編んだものです。ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを大変うれしく思います。

この素晴らしい妙見祭に参加できてとても光栄です。

## 西片町 鋤田 勝治さん

今まで以上に盛り上げてユネスコ無形文化遺産にふさわしい世界の祭りになってほしいです。



## 28 立傘

長柄傘ともいわれ、ビロードまたは羅紗（南蛮渡来の毛織物）などの袋に入れた長柄の傘のことです。

昔、高貴な人の後からお供がかざした日傘で、江戸時代大名などの行列では供の者に持たせました。

## 西片町 鋤田 博之さん

ユネスコ無形文化遺産に登録されてとてもうれしかったですし、登録される記念の年に参加できて良かったです。



## 29 齋主

齋主は、神道で神を祀る人。祭礼をつかさどる人のことをいい、八代神社（妙見宮）の宮司が務めます。宮司とは古語で「みやつかさ」といいます。

その神社の神職の中で最も階級が上の一人だけです。

## 八代神社（妙見宮）

### 宮司 小林 縁郎さん

齋主としてひと月の祭事が事故無く無事に終わることを望んでいます。



## 30 笠鉾 本蝶蕪

笠鉾「本蝶蕪」は、旧八代城下町の「本町」から出されています。

笠の上に、「本」の字、「蝶（町）」「蕪（株）」をのせており、本町の株があがる、つまり本町の商売繁盛を意味しています。

## 本町二丁目 高岡 薫郎さん

また、子どもたちにはぜひ妙見祭を体験してほしいです。

- 1 獅子
- 2 花奴
- 3 木馬
- 4 鉄砲
- 5 毛槍
- 6 白和幣
- 7 籠
- 8 笠鉾 刺慈童
- 9 神馬
- 10 神馬奉行
- 11 甲冑武者
- 12 大麻
- 13 大太鼓
- 14 神官
- 15 阿須波神
- 16 火王・水王・風王
- 17 奏楽 大太鼓
- 18 奏楽
- 19 四神旗
- 20 紙幣
- 21 弓矢
- 22 対の槍
- 23 御太刀
- 24 神輿
- 25 長刀
- 26 紫翳
- 27 管翳
- 28 立傘
- 29 齋主
- 30 笠鉾 本蝶蕪
- 31 笠鉾 蘇鉄
- 32 笠鉾 西王母
- 33 笠鉾 狸々
- 34 笠鉾 蜜柑
- 35 笠鉾 恵比須
- 36 笠鉾 松
- 37 笠鉾 迦陵頻伽
- 38 流錫馬
- 39 龜蛇（ガメ）
- 40 飾馬（花馬）